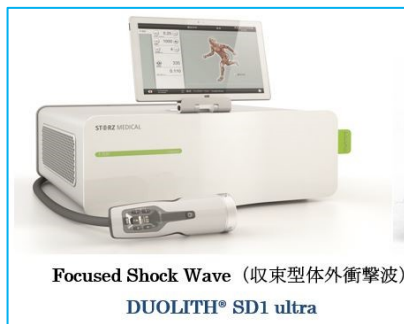


(集束型) 体外衝撃波疼痛治療 (ESWT) と同意書

☆ 体外衝撃波治療とは？

衝撃波を痛みのあるところに照射することで、『除痛効果と組織修復』が期待できる整形外科領域では新しい治療法です。欧米ではスポーツ選手の膝や足の腱・靭帯損傷などに積極的に使用されており、効果が証明されています。体操男子の内村航平選手が世界選手権直前に右足の靭帯損傷を短期間で治療したことで知られています。衝撃波は筋肉と脂肪は通過し、体内深くにある患部のみピンポイントに当てるのが可能です。当院では、この焦点を絞って照射できる「**集束型**」の**体外衝撃波装置**を導入しています。衝撃波を傷ついた組織に当てることで、痛みの原因となっている有害な神経線維を減らし、骨形成や腱付着部の血管新生を誘導し組織修復を促します。痛めた組織の再生が期待できる治療法です。

難治性足底腱膜炎



集束型は患部のみにエネルギー強度を高く照射することが可能（治療効果が高い）です。超音波エコーで照射部位を正確に決めて治療を行います。

☆ 治療の特徴

- 最大の利点は、柔らかい照射パッドの先端にジェルを塗って皮膚に軽く当てるだけで注射や切開などが必要ないことです。テニス肘や肩石灰性腱炎で痛みを取って欲しいけど、注射は絶対嫌だという方には良い方法です。
- 1回の治療時間は約10分で、麻酔は不要です。当日の入浴も可能です。治療頻度は1週に1回、原則は3回ですが症状が改善しない場合は追加で行うこともあります。
- 疼痛のある部位にピンポイントで照射するため、軽い痛みを伴いますが患者様が我慢できる範囲で出力を少しずつ上げて行きます（出力が高い方がより効果があるため）。

☆ どんな疾患（症状）に有効？

難治性足底腱膜炎・テニス肘・肩石灰性腱炎、膝蓋足炎をはじめ、腱だけではなく、筋肉や骨・皮膚など体の様々な部位の疼痛治療に活用されています。



<保険適用あり>

難治性の足底腱膜炎（6ヶ月以上の保存療法の治療を行っても痛みが改善しない方）

<保険診療の対象にならないもの（自由診療）> * 国際整形外科体外衝撃波学会（ISMST）

- 手：ばね指 腱鞘炎 など
- 肘：上腕骨外上顆炎、内上顆炎（テニス肘・ゴルフ肘）
- 肩：肩石灰性腱炎、腱板炎
- 足部：足底腱膜炎、アキレス腱炎
- 膝：膝窩足炎、膝蓋腱炎（ジャンパー膝）
- 骨折：疲労骨折・偽関節・骨折遷延治癒

国内外の学会や研究会では、小児骨端症（オスグッド病、シーバー病）、有痛性外脛骨、分裂膝蓋骨、シンスプリント、各種腱鞘炎、などにも有効であることが報告されています。



テニス肘



肩石灰性腱炎



膝窩足炎

☆ 費用

<保険診療>

難治性足底腱膜炎の場合：50,000円（週に1回、計3回照射の費用）

※窓口での自己負担額は1～3割となります。

※50,000円×1～3割=5,000～15,000円

<自費診療（自由診療）>

1回につき（税込み）：11,000円（通常週に1回、計3回照射）

☆ **安全性と守っていただきたいこと** 治療後に発赤や皮下出血が照射部位に出現することがありますが、数日以内に改善が見られます。当たった部位の組織に細かな傷を与えるので治療当日は安静にされて下さい。治療後から翌日にかけて痛みが出ることもありますので翌日までは痛み止めのお薬などで様子を見て下さい。治療期間中は激しい運動はしないでください。組織修復の途中で激しい運動をすると再受傷する恐れがあります。

☆ 治療を受けることができない方 **ペースメーカーなどの電磁場障害の影響を受けやすい医療機器を植え込んでいる患者様、悪性腫瘍、心疾患、高度の知覚障害がある方**

☆ 体外衝撃波治療をご希望の方へ

はじめに医師の診察を受けて頂き、レントゲン検査や超音波エコーでの検査を行い（保険診療）、治療が適応になるかを判断させていただきます。同意書を施行前にいただき、施行予定日を決めます（保険診療と自由診療が同一日に行うことができないため）。

同意書

はしもと整形外科クリニック
橋本 卓 殿

私は、はしもと整形外科クリニックにおいて「体外衝撃波による治療の内容・安全性・費用」などについて説明を理解し、治療を受けることに同意します。

令和 年 月 日

患者様氏名

説明医師 はしもと整形外科クリニック 院長 橋本 卓